



学校だより

はくれい

白山市立白嶺小学校
白山市立白嶺中学校
第13号
令和7年12月1日



「白山ひめ鮎」の塩焼きが
提供された給食

組合理事の北出弘基さんによると、6月16日から9月末までに約2700匹の白山ひめ鮎がアユ釣り教室や買い取り所などを手掛ける「はくれい」を通じて、地元の子供たちにも知らせてもらおうと給食用に提供した。

9月にブランド化

白山市の清流で育まれたアユの周知へ、白山手取川漁協は学校給食で地元の天然アユ「白山ひめ鮎」の提供を始めた。白山ひめ鮎は「全国山城サミット白山大会・鳥越センゴクフェス」に合わせて今年9月にブランド化されたばかり。学校給食をきっかけに、市内外の飲食店で提供を目指す。

白山手取川漁協、児童生徒に

「ひめ鮎」給食で知って



北出さんと一緒に「白山ひめ鮎」を味わう子どもたち
＝白山市白嶺小中

魚好きじゃなくても「おいしい」

塩焼きが1匹ずつ提供された。学年ごとにサイズが異なり、子どもたちは特製ソースで味わった。白嶺小6年の新田莉緒さんは「魚はあんまり好きじゃないけれど、白山ひめ鮎は食べられたとて、おいしい」と口いっばいに頬張った。給食時間の後半には、北出さんと漁協組合理事の塩栗与嗣男さんと喜んだ。

食べ物は、植物や動物といった他の命をいただくことで作られています。

私たちは毎日の食事を通して様々な「いのち」をいただきます。

私たちが健康で毎日過ごせているのも「いのち」のおかげです。

私たちの「いのち」は、いただいた「いのち」で明日に繋がれているのです。まずは自然や食べ物に感謝しなければなりません。

いただいた「いのち」を無駄にせず、感謝してしっかり食べましょう。

「いただきます」「ごちそうさま」といった感謝の言葉を実践しましょう。

食することは健康維持に不可欠であり、心の成長とも深く関わっています。

栄養バランスの取れた食事は、健康な体と健やかな心を育む土台となります。

友達や先生と感謝しながら給食をいただく経験を通して、互いに支え合う力や自分で食を選ぶ力も育てましょう。

【北國新聞 R7.11.29 (土) より】

【表彰披露】

①「いしかわっこ駅伝交流大会」出場メンバー

(6年 吉田橋平さん、柴山雄太朗さん、宮腰斗牙さん、5年 山口晴之さん、東野俊一朗さん)

②白山市読書感想文コンクール

優秀賞 小学3年 新田紗良さん

佳作 小学1年 合田美晴さん、バーネットソン愛幸さん、小学2年 太田智美さん、関千花さん、小学3年 川端多緒さん、小学4年 山下杏珠さん、小学5年 常少凜音さん、丹保日奈さん、小学6年 新田莉緒さん、山本麗心さん、中学1年 増田奈那さん、中学2年 山口三步さん、中学3年 泉屋絵南さん

③松任法人会主催「税に関する絵はがきコンクール」

優秀賞 小学6年 新田 莉緒 さん

④第20回白山市図書館を使った調べ学習コンクール

努力賞 小学1年 バーネットソン愛幸さん、中学3年 永井貫太さん

⑤第42回県児童硬筆書写作品コンクール

特選 小学6年 山下七色さん、入選 小学3年 山田 幸さん

